

社会資本総合整備計画

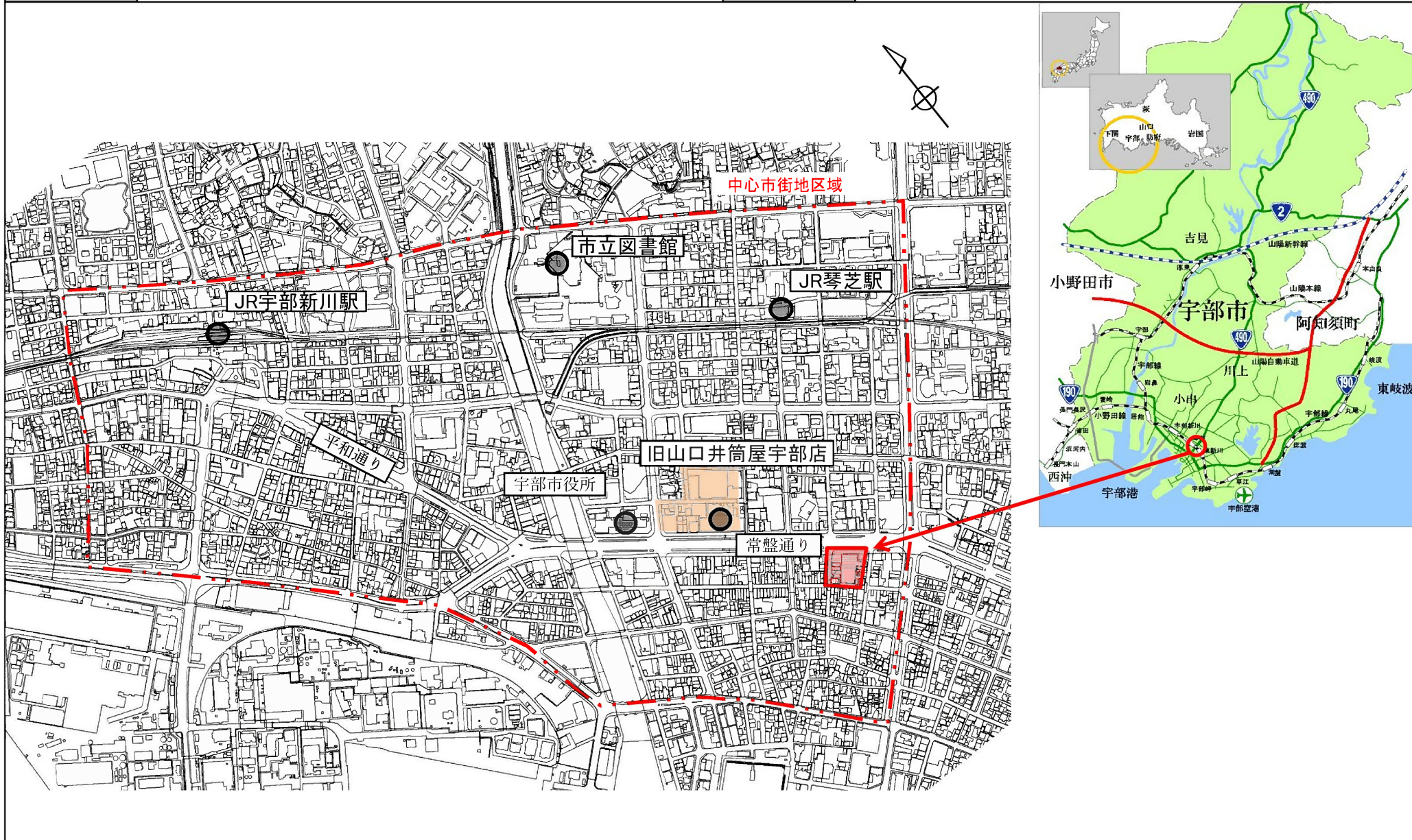
新天町二丁目地区暮らし・にぎわい再生整備計画

令和3年1月

山口県 宇部市

位置図

計画の名称	新天町二丁目地区暮らし・にぎわい再生整備計画		
計画の期間	令和3年度～令和3年度(1年間)	交付対象	宇部市



社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和03年01月15日

計画の名称	新天町二丁目地区暮らし・にぎわい再生整備計画												
計画の期間	令和03年度～令和03年度(1年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	宇部市												
計画の目標	<p>宇部市では、中心市街地にぎわい創出と地域経済の活性化を図るため、3つの重点整備地区を定めており、その1つである市役所周辺地区は、商業・オフィス・金融・官公庁が集積している立地を活かし、業務・商業施設の再編を促しながら、子ども・若者・高齢者など多世代が交流し、賑わい創出の拠点づくりをすすめることとしており、新天町二丁目地区は、当該地区に位置している。しかしながら、当該地区は平成30年12月末から大型百貨店やスーパーが相次いで閉店するなど、にぎわいの喪失や商業の衰退等が懸念されている。</p> <p>そこで、閉店した大規模小売店舗を取得した民間事業者が、空きビルの空きフロアを活用し、若者を中心に、活動や就労等の支援を受けながら、様々な人と交流できる若者支援施設（公共的機能）や不特定多数の人が利用できる健康関連施設（商業的施設）等を整備することで、利用者の利便性向上ににぎわい交流の創出を図る。</p>												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	336	A	336	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2当初	R3末	R4末
1	複合施設として再生することにより、中心市街地のみならず、市内外から人が訪れ、来街者が増加する。1,463人/日→1,700人/日 休日の歩行者通行量を定点観測(2地点 AM10時～PM6時)する。来街者数(歩行者通行量)(8時間) 歩行者通行量(8時間)	1463人	人	1700人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R03	R04	R05	R06	R07				
		一体的に実施することにより期待される効果 備考																		
市街地整備事業	A13-001	市街地	一般	宇部市	直接	宇部市	—	—	新天町二丁目地区暮らし ・にぎわい再生事業	賑わい交流施設 600㎡、商 業施設 1,105㎡	宇部市	■					336	1.28	—	
											小計						336			
											合計						336			

社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称:新天町二丁目地区暮らし・にぎわい再生整備計画

事業主体名:宇部市

新天町二丁目地区

I. 目標の妥当性	
①中心市街地活性化基本計画との適合等	
1)計画の目標や指標が中心市街地活性化基本計画と適合している。	○
2)上位計画(中心市街地活性化基本計画)等と整合性が確保されている。	○
②地域の課題への対応	
1)中心市街地の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
2)まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1)目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2)指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3)目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
4)指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
5)防災・安全の観点からも妥当な目標と指標・数値目標となっている。	○
④事業の効果	
1)十分な事業効果が確認されている。	○
2)民間事業との相乗効果や地域全体への波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意	
1)まちづくりに向けた機運がある。	○
2)住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
3)継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
⑥円滑な事業執行の環境	
1)計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2)計画について住民等との間で合意が形成されている。	○